

玉川学園創立80周年記念特別展

イコン 聖像画の世界

ICONS The World of Sacred Images

2009 11/2 (月) ~ 2010 1/29 (金)

80th
Anniversary
Tamagawa
1929 ~ 2009



フェオドロフスカヤの聖母
ロシア・イコン 19世紀

時 間 : 9:00 ~ 17:00 (入館は16:30まで) 入館無料
休館日 : 土・日・11/10 ~ 12, 11/26, 12/17 ~ 1/11
(11/3・7・8・14・15・23, 12/5・6は開館)
交 通 : 小田急線「玉川学園前」駅下車 徒歩15分

主催 玉川大学教育博物館

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

Tel : 042-739-8656 e-mail : museum@tamagawa.ac.jp

www.tamagawa.jp

講演会 予約不要

11月15日(日) 13:30 ~ 14:45
玉川大学8号館123教室 (開場 13:00)
内容 : イコンとその歴史
講師 : 鐸木道剛 (岡山大学大学院准教授)

ギャラリートーク 予約不要

12月5日(土) / 1月22日(金)
いずれも 13:30 ~ 14:15
学芸員が展示内容を会場で解説します

玉川学園創立80周年記念特別展

イコン

聖像画の世界

ICONS The World of Sacred Images

2009 11/2 (月) ~ 2010 1/29 (金)

このたび、玉川学園創立80周年を記念し、当館所蔵の美術資料の中から、イコンコレクションを公開する特別展を開催いたします。

イコンとは、ギリシア語のエイコン（肖像・似像）を語源とし、特に東方正教会で発達した聖像画のことをさします。イコンは、ビザンティン美術の一流として発達し、8世紀のイコノクラスム（聖像破壊）の受難を経たのち、11世紀頃からのイコン崇敬の高まりとともに、ロシアやそのほかの東方正教会圏に広まっていきました。正教会の信仰において、イコンは欠くことのできない存在で、聖堂内の聖障壁（イコノスタシス）におかれる大形のものから、家庭内で拝す比較的小形のものがあります。主題には、イエス、聖母、聖人、説話などの場面があり、一般的にはテンペラ技法を用いて木の板に描かれています。

玉川学園では、教育の理想として真・善・美・聖の四つの絶対価値の追求を掲げ、調和ある人格の陶冶をめざす全人教育を実践し、なかでも学問・道徳・芸術教育とともに宗教教育を重視しています。この宗教教育は、キリスト教精神に基づいてはいますが、一宗一派にとらわれることなく、神という絶対者を知り、神を敬愛する心を養うことを目的としてきました。イコンコレクションは、このような本学の教育活動に資するため、創立50周年記念事業（1979年）の一環として収集がはじまり、現在71点のイコンを所蔵するにいたりました。

コレクションは、これまで常設展や他館との共同主催による企画展などで紹介してきましたが、所蔵するイコン71点をすべて展示するのは、はじめての機会となります。この展示により、イコンのもつ独特な美と崇高な世界に触れていただければ幸いに存じます。

玉川大学教育博物館

〒194-8610 東京都町田市玉川学園6-1-1

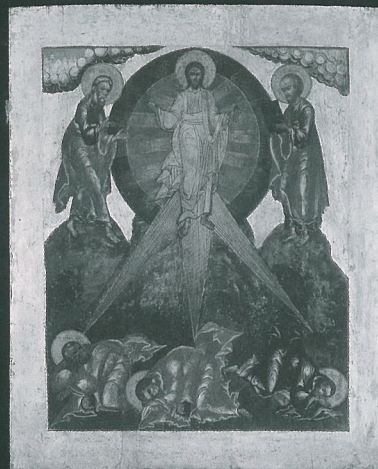
Tel : 042-739-8656

e-mail : museum@tamagawa.ac.jp

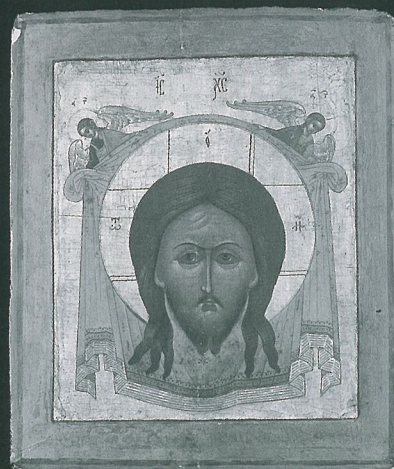
www.tamagawa.jp



①



②



③



④

①聖三位一体 ロシアイコン 16世紀

②イエス・キリストの変容 ロシアイコン 1700年

③マンディリオン ロシアイコン 1600年頃

④頃薔薇の聖母 ロシアイコン 17世紀